

大妻同窓会福島だより



ご挨拶

大妻同窓会福島代表 武藤みや子

大妻同窓会福島の会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

私は、2月に所用で東京に出かけた折、JR市ヶ谷駅から徒歩で大妻に向かいました。靖国通りから懐かしい大妻へ。グラウンドはこの辺りだったかな、大学の校舎があったのは・・・などに見渡しましたが校舎の周辺は全く昔の面影が無く、在学中とはすっかり変わってしまっていてただ驚きでした。千鳥ヶ淵や英国大使館などを眺めながら半蔵門まで歩き学生時代に帰った一時でした。

ところで、新型コロナウイルスの感染拡大により、この3年間、総会やその他の行事を中止とさせていただきます。また、会報の発行も出来ず大変ご迷惑をおかけいたしております。今年

度は、皆様方に近況報告も兼ねましてささやかながら会報の発行を計画致しました。以前のような紙面には及びませんが、会員の皆様の心に留めて頂ければ幸いです。

会員数の減少や会費の未納者も多くなり、役員の負担が大きくなってしまいました。今後の活動につきましては、役員会で少しの間休会とさせていただきますことに決定いたしました。早い時期に新役員を選出し新たな出発ができますように準備したいと思います。

会員の皆様方には、これまで沢山のご指導、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。活動を再開いたしました折には、今まで以上のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

今後の活動に向けて

副代表 渡部 幸子

三年余りに渡ったコロナ感染症による行動自粛もようやく緩和され、日常生活も少しずつではありますが戻りつつあります。各種イベントの開催や飲食店で食事を楽しむ人が多くなったことを見かけると、コロナ禍以前を思い出します。

私はコロナ禍での自粛生活の中で大切な人と会わない日が続いていましたが、ようやく会えると思った矢先に二度と会えなくなってしまいました。いつでも会えると思っていたことも「当たり前」ではありませんでした。「当たり前」の反対語は「有り難し」。今、改めて感じています。

家族や友人と食事や会話を楽しむこと、健康で一日過ごせること。実は日常生活は全て「当たり前」ではない「有り難い」こと。日々感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。

「あの日、あの時」



副代表 阿部 晶子

例年より早い桜前線の便りを聞くこの頃、コロナ禍も三年になりますが皆様お元気でお過ごしでしょうか？

この度、大妻同窓会福島として発足してから微力ながら会のお手伝いをしてきましたが、ほんの少し休会になります事宜しくお願い致します。

今までの福島だよりを見ながら、皆様と共に楽しく出かけた旅行や、総会の中での催しなど懐かしく思い出されます。

いつかまた母校大妻学院の発展と共に会員の皆様と笑顔でお会いできる事を楽しみにしています。

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

大妻同窓会福島役員 (令和4年度)

代 表	武 藤 みや子	(昭45 大学 家政卒)
副 代 表	渡 部 幸 子	(昭50 大学 食物卒)
副 代 表	阿 部 晶 子	(昭53 短大 英文卒)
会 計	越 尾 茂 子	(昭56 短大 英文卒)
会 計	三 浦 節 子	(昭56 短大 英文卒)
監 査	大 竹 美登里	(昭52 短大 被服卒)
監 査	小 松 宏 子	(昭53 大学 被服卒)
相 談 役	佐 藤 瑞 樹	(昭38 大学 家政卒)

〈 ご 寄 付 〉

会員の方から多額のご寄付をいただきました。活動を再開した折に使わせていただきます。

ありがとうございました。

編 集 後 記

コロナ禍も丸三年になり、3月からマスク着用が個人の判断に任され、5月からは第5類に移行されます。少しずつ元の生活に戻りつつあると感じます。

大妻同窓会福島はこの会報の後少しの間休会となります。これまでご協力いただいた会員の皆様ありがとうございました。(越尾茂子)

大妻同窓会福島会報

編集発行人	武藤みや子
発行所	大妻同窓会福島
発行日	令和5年3月31日
印刷所	有限会社 わかさ印刷 (会津若松市町北町上荒久田字崖下16-2)